



# オアシス

文責：副学長  
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2021年4月22日発行 第36号

本アカデミーにとって4月は、年度の修了月となります。コロナ禍で思うような事業展開ができない中でも、工夫を凝らしながらピンチをチャンスと捉える取組が見られたことは、大いに評価できることと思います。来年度は、さらに厳しい試練が待ち受けているかもしれません…。そのような状況下だからこそ、皆さんと共に知恵を出し合い芸術文化の灯を絶やさない行動を、ここ出雲芸術アカデミーから発信出来たらうれしい限りです。

## ◎ ファミリーコンサートで締めくくり！

本アカデミーの各講座（幼児科・別科・本科）が年度末に行ってきた発表会を合同で取り組むのは、今回が初めてのことです。合同にした理由の一つには、発表のための講座になりがちなところを毎時間の講座がより充実して取り組めるよう工夫し、その延長線上にまとめとしての発表会としたところでしょうか…。ただ、発表に関しては、各講座の年齢層や学ぶ目的意識の違いから、それぞれの趣旨に合うよう3日間にわたって開催しました。なお、開催場所は、ホール発表を体験することで、発表することの意義をより高めるために、例年と変わらず「大社文化プレイスうらら館」で実施しました。

**初日（4/10）は、幼児科と本科の弦楽器入門・キッズアンサンブル&キッズコーラスのステージです。**

◆幼児科は、普段から歌やリズム遊びを中心に親子で活動しており、今回のコンサートでは、手作りの太鼓や衣裳を披露しながら、親子で微笑ましく触れ合いながらステージいっぱい発表できました。

◆弦楽器入門は、普段はヴァイオリン入門とチェロ入門は別々に個人レッスンを中心に基礎的なことを学んでいますが、その成果を発表しようとヴァイオリンとチェロの合同で初舞台を体験しました。発表曲の「キラキラ星」を堂々と演奏していました。

◆キッズアンサンブル&キッズコーラスは、今年度の新しい取組の一つで、小学1年生から3年生を中心に楽譜の読み方や曲づくりも挑戦するなど、音楽を深掘りしつつ楽しみながら活動しています。今回は、歌を中心に鍵盤ハーモニカやリコーダー演奏を披露し、物怖じせず表情豊かに発表出来ました。

**2日目（4/11）は、別科のコーラスレパートリー・オーケストラレパートリー・邦楽合奏（箏）のステージです。**

◆オーケストラレパートリーは、弦楽合奏と管打楽器合奏に分かれての発表です。オーケストラレパートリーとしては、初めてのファミリーコンサートへの出演でした。コロナ禍でオーケストラとしての合奏が出来ない状態が続いていた時、少人数のアンサンブルを中心に取り組んでいました。その成果発表が今回のコンサートにつながりました。弦楽器、管打楽器の持つ魅力が、それぞれ



裏面へ

発揮できた演奏となりました。

◆邦楽合奏は、それぞれの流派を超えて邦楽を愛する方々が集まり、普段から指揮者による合奏指導を中心に活動を行っています。取り組む合奏曲は、和・洋にこだわらず様々な分野の曲に挑戦し、今回は本アカデミー講師のフルート奏者との共演も実現しました。箏（琴）をお持ちの方ならどなたでも受講できますので、今後も多くの皆様に邦楽の楽しみを分かち合う場として提供できたら喜ばます。

◆コーラスレパートリーは、生涯教育にふさわしく、御高齢の方も楽しみながら意欲的に参加されており、いつも生きる喜びを感じさせていただいています。今年度は、コロナ禍で全員が集まる合唱体験ができず、女声と男声に分かれての講座が多く、今回も女声合唱と男声合唱を、それぞれ練習成果として披露していただきました。今年度後半になってようやく全員による合唱もできるようになり、その混声合唱の魅力が存分に発揮されるステージには、客席からも大きな拍手が鳴りやみませんでした。最後のプログラムは、オーケストラレパートリーの皆さんも合流し、ダイナミックな合同合唱で2日目を締めくくりました。

**3日目（4/18）は、本科の合唱コース・オーケストラコースのステージです。**

◆ジュニアコーラスのステージは、女声12名、男性5名による少人数ながら天使のような響きで会場を魅了しました。普段の講座から楽しさいっぱいに取り組む様子が、ステージでも発揮され、発声も表情豊かに音楽づくりを楽しんでいる姿が印象的でした。また、3月の出雲オペラに出演した経験が、自信として満ち溢れ、表現力に一段と磨きがかかっていたようです。

◆ベーシックオーケストラは、今年度の新しい体制で取り組んだ初心者用のオーケストラです。弦楽器と管打楽器のそれぞれ基礎的な演奏法を学んできたことが合奏という場面で出会い、この度初めてのステージ発表となりました。緊張の中にもオーケストラの響きを大切にしようとする試みが随所に現れ、会場からも将来性のある表現に惜しみない拍手が送られていました。

◆シンフォニーオーケストラは、オーケストラ本来の美しい響きが表現され、ジュニアとは思えないレベルの高い演奏を披露しました。弦楽器の弓の動きに呼応するかの如く管打楽器が反応し、オーケストラの魅力を存分に味わうことが出来た演奏でした。また、ドボルジャークの「新世界」は、緻密なアンサンブルに加え、ダイナミックな表現力に、3日間の最後を飾る心さわしいステージとなりました。

## 《お知らせ》

新年度から**LPレコード音楽サロン**が新規事業として開催されることになりました。初回は6月から開催しますので、詳細については本アカデミーHPをご覧ください。

【このたよりは、本アカデミーホームページでも掲載します <https://www.izumo-zaidan.jp/academy/>】

